

## news release

日本の小児医療における療養環境改善の支援活動の一環として愛知・東京の2会場で開催  
**大きな反響を呼んだトロント小児病院マクニール博士来日特別講演会**  
近年注目されている「家族中心のケア(ファミリー・センタード・ケア)」に基く  
チャイルド・ライフ、ソーシャル・ワーク活動について講演

企業としての社会貢献の一環として、日本の小児医療における療養環境改善のための活動に対する支援を積極的に進めているカナダ系のマニライフ生命保険株式会社(本社:東京都調布市、社長兼CEOジェフ・クリックメイ)では、このほど、小児医療の先進国であるカナダのトロント小児病院(シックキッズ)より、チャイルド・ライフ、ソーシャル・ワークの専門家テッド・マクニール博士を招聘し、愛知県と東京の2ヶ所で特別講演を開催、大きな反響を呼びました。

今回のマクニール博士の特別講演は、日本の小児医療でも近年注目されている、「家族中心のケア(ファミリー・センタード・ケア)」の考え方に基くチャイルド・ライフ、ソーシャル・ワーク活動の意義、を主題とするもので、先進的なカナダでの事例に触れることのできる機会とあって、講演は大きな反響を呼び、各地の病院関係者、小児医療関係者等、両会場合わせて200人以上の出席者がつめかけ、マクニール博士の講演に熱心に耳を傾けました。

マクニール博士の講演内容はカナダでの事例を交えながらの実証的なもので、いずれの会場でも、医師、看護師、チャイルド・ライフ・スタッフ、ソーシャル・ワーカーなどの出席者から、それぞれの日常の取組みに密接に関わる質問も相次ぎ、白熱した実りの多い講演となりました。日本とカナダの違い、日本で医療にあたる際の悩み等についての質問も多く、博士は全ての質問に丁寧に回答していました。参加者からは、「なかなか接することのできない進んだ海外の医療についてお話を聞くことができ、貴重な講演だった」等の声が上がっていました。

日本にマクニール博士を招聘して開催された特別講演は、6月4日(日)に愛知県大府市のあいち小児保健医療総合センターで、6月5日(月)に東京都文京区の順天堂大学において、それぞれ行われたもので、愛知講演は、マニライフ生命と特定非営利活動法人(NPO)「子ども健康フォーラム」(愛知県西加茂郡、理事長 田邊 穰)の共催、東京講演は、マニライフ生命と順天堂大学医学部小児科(東京都文京区、山城雄一郎教授)の共催により開催されました。

博士は世界的に有名な小児病院の一つであるカナダのトロント小児病院にて「チャイルド・ライフ」(小児・青少年の患者が心の安寧を得るための心理社会的支援)と「ソーシャル・ワーク」(患者およびその家族が病気から受ける苦痛を和らげる心理社会的カウンセリング等のサポート)両部のディレクターとして、保健医療分野における20年以上の経験と幅広い知識を生かし、病院での保健医療サービスの向上に尽力しています。

### マニライフについて

マニライフ生命保険株式会社(「マニライフ生命」)は、マニライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、トップクラスの格付けの一つである「AA+」を取得しています(2006年5月現在)。マニライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよび日本、大部分のアジア地域では、マニライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2006年3月31日現在3,860億カナダドル(3,300億米ドル)となっています。マニライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。マニライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ([www.manulife.com](http://www.manulife.com))をご覧ください。マニライフ生命のホームページは次の通りです。(www.manulife.co.jp)



### テッド・マクニール博士 来日講演概要

演 題:「小児医療における療養環境-チャイルド・ライフ、ソーシャル・ワーク活動の意義-」

<名古屋>

日 時:平成 18 年 6 月 4 日(日) 14:45~16:45

会 場:あいち小児保健医療総合センター(愛知県大府市) 地階大会議室

主 催:NPO子ども健康フォーラム、マニユライフ生命共催

(講演は、NPO子ども健康フォーラム主催「第7回 こどもの療養環境 研究発表会」9:00~18:00  
のプログラムの一部として行われました)

<東 京>

日 時:平成 18 年 6 月 5 日(月) 17:00~19:00

会 場:順天堂大学 9 号館 2 階 8 番教室

主 催:順天堂大学医学部小児科、マニユライフ生命共催

### テッド・マクニール博士略歴

ウィルフリッド・ローリエ大学でソーシャル・ワーク(社会福祉学)修士号、トロント大学で同博士号を取得。現在はカナダ、トロントの小児専門病院(The Hospital for Sick Children)の「ソーシャル・ワーク」と「チャイルド・ライフ」両部ディレクター。同病院はベッド数 334 を有する小児専門治療施設であり、トロント大学に所属しています。同博士はまた、同病院研究所のプロジェクト・ディレクターであると同時に、トロント大学の社会福祉学部でも非常勤講師として教鞭を取っています。

### NPO「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要・不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児専門病院の「あいち小児保健医療総合センター」(愛知県大府市、センター長 長嶋 正實)をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレールーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。